

✧ 海外ニュース ✧

■フランス 2020年8月26日 Vinci

A8 高速道路の斜面保護：作業の動画あり

SÉCURISATION DES TALUS AU-DESSUS L'AUTOROUTE A8 : UNE VIDÉO IMPRESSIONNANTE !

エスコタ社が運営する南仏マントンの高速道路 A8 号線では、急峻な岩山を保護し落石を防止する網の交換作業が行われました。この落石防止網の交換作業は、高速道路の 50 m 上に位置する場所でロープアクセスにより実施されるもので、作業班はまず既設の装置で安全性を確保した後に、長さ 8 m の柱に新たな落石防止網を設置し老朽化した網を撤去する作業を行いました。

■フランス 2020年8月28日 Eiffage

フランス エファージュ社、2020 年上半期の実績

Résultats du 1^{er} semestre 2020

エファージュ社は、新型コロナウイルス感染症蔓延で、2020 年上半期、工事および道路運営事業の実績を下方修正したものの、損失は損益分岐点に近い 800 万ユーロ（グループ純利益）に抑えられたことから模範企業とされることとなった。

そのため堅調な経営状況を維持しており、資金流動性は、エファージュ社で 46 億ユーロに増加、有料道路子会社 APRR では 31 億ユーロに増加した。受注残高は 15% 上昇し、170 億ユーロ超となった。

2020 年の事業・実績は、激しい落ち込みが予想されるものの、下半期には建設事業を再開するとともに、夏期には高速道路の交通量が 2019 年に近いレベルへと、大きな回復を見込んでいる。

■インド 2020年8月28日 TECHWIRE ASIA

AI を用いた交通管制がアジアの渋滞問題を大幅に改善しつつある

AI-powered traffic management is slashing Asia's congestion problem

渋滞問題が深刻化する中で、デリー市では実行可能な解決法を検討した結果、人工知能 (AI) を用いた新しい交通管制システムの導入に至った。

デリーでは、CCTV カメラ 7,500 台超、自動制御の信号機、LED を用いた標識 1,000 基にセンサーやカメラを設置しており、リアルタイムで交通状況データを収集し、それを基に AI が即時に状況判断する。

■アメリカ 2020年9月1日 KTVT-TV

テキサス北部有料道路管理局 (NTTA) が逆走車検知の試験的なプログラムに熱探知カメラを採用

NTTA Using Thermal Cameras In Pilot Program To Detect Wrong-Way Drivers

「逆走車に関する問題は、逆走するのは、ほぼ例外なく正常な健康状態にない重度の健康問題があるドライバーだということです。従って、いかに逆走ドライバーと意思疎通するかが課題なのです」と、NTTA の広報担当者は言う。

同局では熱探知カメラによる監視を行っており、逆走車を感知すると点滅信号が作動する。

■ドイツ (タイ) 2020年9月2日 ドイツェ・ヴェレ

混雑課金はバンコクの大気汚染と道路渋滞の改善につながるか

Can a city toll help Bangkok clean up its air and roads?

『タイのクリーンな交通プログラム』は、ドイツ環境省の『国際気候イニシアチブ』から 800 万ユーロの支援

を受けて世界規模で展開されている『TRANSfer III』プロジェクトの一環で、ドイツ国際協力公社（GIZ）とタイ政府交通政策・計画室が実施している。なお本件は、インドネシア、コロンビア、ペルー、フィリピンでも展開されている。

■イタリア 2020年9月3日 アトランティア

イタリアアウトストラデー社の会社分割に対応する受け皿会社「アウトストラデー・コンチェッショニー・エ・コストルツィオーニ(株)」を設立

Costituzione della società beneficiaria "Autostrade Concessioni e Costruzioni S.p.A." funzionale all'operazione di scissione di Autostrade per l'Italia

この会社の設立は、会社分割（分社型や分割型）とその後の株式上場に対応するためのものである。事業構造と会社分割の計画はアトランティア社の次の取締役会で提出、承認される見込みである。2020年8月4日付プレスリリースで発表したとおり、アトランティアが所有するイタリア・アウトストラデー社の株式の88%すべてを直接売却するという案は、会社分割の代替案として残っている。

■ドイツ 2020年9月4日 Verkehrsrundschau オンライン版

EV, FCV 燃料補給インフラ：交通相、ヨーロッパ統一の支払いシステム案を支持

Stromladen : Scheuer für europaweit einheitliches Bezahlssystem

ショイアー連邦交通相は、自動車の充電・水素補給に対するヨーロッパ統一支払いシステムの整備案を支持する意向を示した。3日に行われた欧州連合理事会議長国としてのweb会議で、交通相は交通の電化だけでもCO₂排出を大きく削減できる可能性があると言った。そのためには、国境を越えて広く整備された補給網をヨーロッパに作る事が欠かせず、すばやく容易に補給できるようにすべきだという。すべてのEU加盟国で補給インフラを見つけ、その信頼性がすぐに確かめられるようなルール、価格の透明性や統一した支払いシステムが必要だと述べた。

■ドイツ 2020年9月14日 Spiegel オンライン版

混雑課金：経済学者たちがミュンヘンへの混雑課金導入を勧める

Anti-Stau-Gebühr : Ökonomen empfehlen City-Maut für München

都心部に入る車に数ユーロを課すだけで、ミュンヘンの「都心の渋滞問題は制御可能になり得る」、これがIFO経済研究所とコンサルティング会社『インタープラン』が共同で行った研究報告書の結論である。

この報告書によれば、車1台につき1日6ユーロを課した場合、28kmにわたる都心環状道路の交通量が平均23%、ラッシュアワーでは33%減少し得るといふ。また、課金額を10ユーロにした場合は、それぞれ約30%と41%減の見込みである。研究チームは、多くの市民がこの課金を避けて他の交通手段に切り替えると推測している。

■フランス 2020年9月15日 Vinci

ストラズブール西部バイパスの環境改革：Bioduc（生物用通路）の設置

INNOVATION ENVIRONNEMENTALE SUR LE CONTOURNEMENT OUEST DE STRASBOURG : LE BIODUC

フランス初の試み。小型哺乳類や、特に仏アルザス地方に生息する大型ハムスターが、橋梁を安全に渡ることができるよう、橋梁の高欄外側にU字型通路（高さ60cm×幅40cm）を設置するものである。沿道の環境施策として、生物の専用通路が設置されるのはフランスでは初めてのことである。

この生物用通路は、RD/RM622号線のプロイシュヴィッカーズハイム～イッテンハイム間で見ることができる。

■アメリカ 2020年9月16日 Pensacola News Journal

ハリケーン『サリー』：ペンサコーラ・ベイ・ブリッジ、1カ月以上使用不可になる可能性も

Hurricane Sally : Pensacola Bay Bridge may be out of commission a month or more

ハリケーン『サリー』が通過中、不適切な工事の現場管理により作業台船が流され、ペンサコーラ・ベイ・ブリッジに激突したことから道路橋が大きく破損してしまった。フロリダ州のダグ・ブロクソン上院議員は、修復に1カ月以上かかると見積もっている。

■スペイン 2020年9月17日 運輸・移動・都市政策省

バスケス・トロン事務局長、道路保全とデジタル化への投資の増加が、この10年間の道路政策の特徴となると断言

Vázquez Torró asegura que el incremento de la inversión en conservación y la transformación digital marcarán la política de carreteras en esta década

バスケス・トロン インフラストラクチャ事務局長は、運輸・移動・都市政策省が、道路網の保全、デジタル化、安全、持続可能性を促進するために、『復興レジリエンス・ファシリティ機構』に資金提供を申請する予定であると述べた。

■イタリア 2020年9月18日 Repubblica オンライン版

事故の危険性：運転し始めてからの3分間に注意

Pericolo incidenti, attenzione ai primi 3 minuti di guida

最近、ある研究結果が発表された。これはテレマティクス・サービス・プロバイダーのドルフィン社のシステムから得た、匿名化されたデータを基にしたもので、2018年から2019年まで4万人の運転手が320万回の走行をしたところ、事故は1,986件発生した。この研究では、特に運転時間の長さや事故発生との関係に着目している。事故の可能性が最も少ないのは運転時間が10～20分の場合である。他方40分以上運転した場合には、事故のリスクは20分以下の場合の2.5倍にはね上がる。特に、10分以内の短い運転時間の場合を詳細に調査すると、事故の25%が運転し始めて3分以内に発生していた。

■インド 2020年9月18日 The Times of India

世界最長の高速道路トンネル、間もなく供用開始

The world's longest highway tunnel is ready to open

ロータン岬のアタルトンネルは、標高3,000 m超の高さに位置する世界最長の自動車道路トンネルであり、間もなく供用開始される。

60 mおきに消火栓、500 mおきに緊急脱出トンネル、1 km おきに大気監視装置を設置している。さらに緊急電話ブースが一定の間隔に設けられ、放送システムと事故自動検知システムも備えている。なお、トンネル内は4G通信も利用可能である。